



赤外テレビカメラの画像 デジカメ CCD方式の画像

術についても、精力的に取り組んでいます。最近注目された仕事は「キトラ古墳」のデジタルカメラでの撮影でしたが、そのほかにも新しいデジタル技術を活用した調査法を新たに提案し、成果をあげています。

デジタルカメラのCCDは、本来は目に見えない赤外線的光もとらえられますが、通常の撮影ではこの光がじゃまになるので意図的にカットしています。これを逆手にとり通常の光をカットして赤外線的光だけをとらえるようにカメラに細工をして撮影すれば、これまで利用されてきた赤外線フィルムやテレビカメラでの赤外線撮影よりも高精度な赤外線画像を得ることができます。奈文研ではこれを出土した木簡資料の判読や文字情報の詳細な画像記録に役立てています。

また、撮影したデジタルデータは保存の面で問題がありますので、高精度なフィルム出力機により白黒フィルムに出力して保存しています。

(平城宮跡発掘調査部)

## デジタルカメラ CCD の赤外線撮影への応用

平城宮跡発掘調査部の写真資料調査室では、日々の撮影の他に文化財の写真に関する保存や応用の技